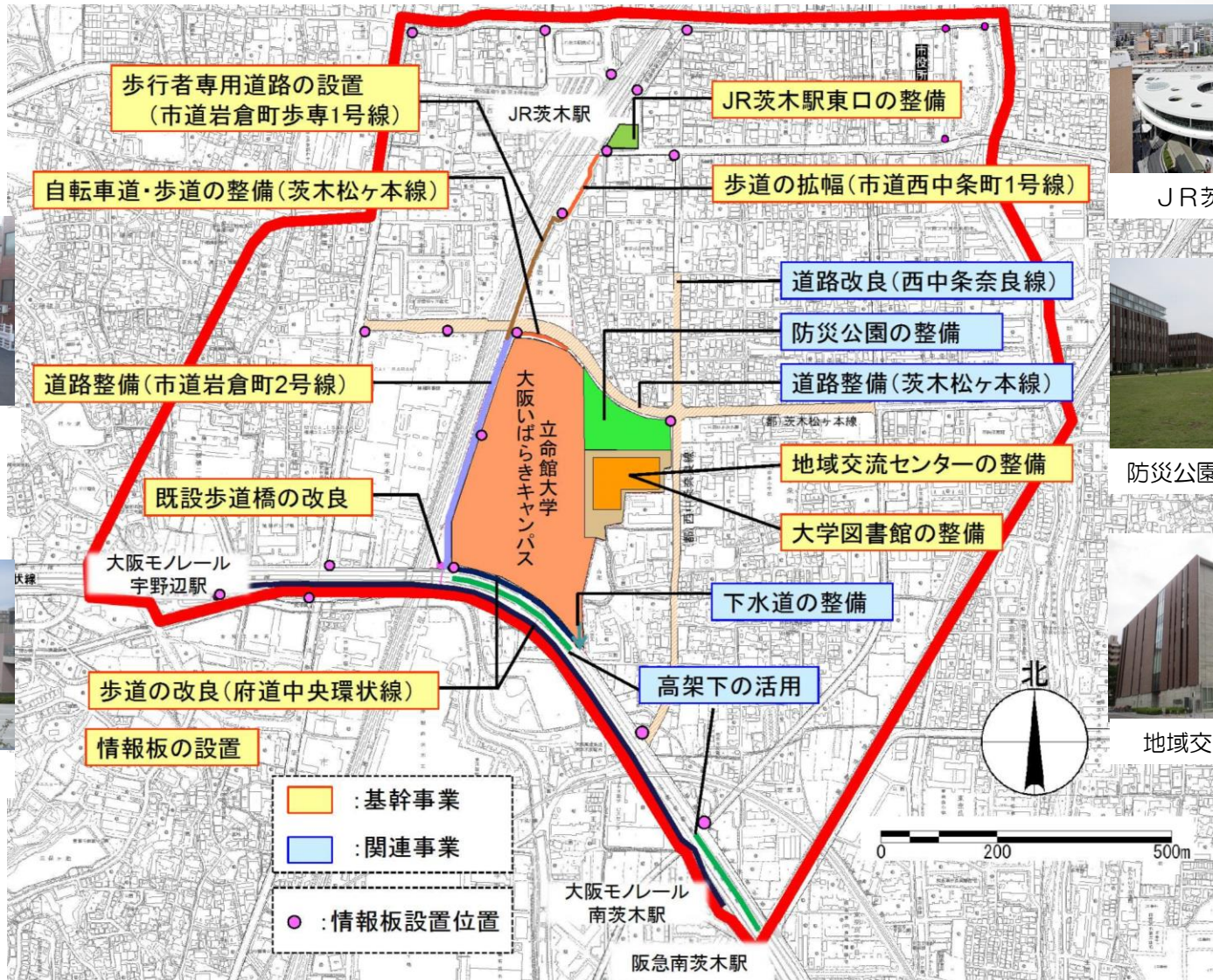


事後評価説明資料 (JR茨木駅南地区)

- (1) 整備方針概要
- (2) 数値指標の達成状況と効果発現要因の整理
- (3) 今後のまちづくり方策
- (4) フォローアップ計画
- (5) パブリックコメントの実施について
- (6) 今後のスケジュール

(1) 整備方針概要

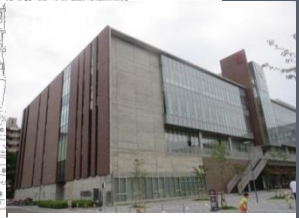
○ 整備方針概要図



JR茨木駅東口



防災公園 (岩倉公園)



地域交流センター



市道西中条町1号線



市道岩倉町2号線

○ 都市再生整備計画事業の概要

大目標：
大規模工場跡地の土地利用転換を契機とした、
都市基盤施設の整備と交流・学習拠点の創出

目標1：
JR茨木駅及び大阪モノレール宇野辺駅の交通結節点の
機能強化、両駅間の安全で快適に回遊できる歩行者・自
転車ネットワークの充実

目標2：
災害時の一次避難地や避難路を確保し、地域の防災性を
向上

目標3：
大規模工場跡地の整備インパクトを活用した、交流と学
習のまちづくり拠点の整備

○ 都市再生整備計画事業の整備方針

まちの課題

目標

方針に合致する事業

- ・ 歩行者動線が不足
- ・ バリアフリー化が不十分
- ・ 駅・バス停周辺環境整備
- ・ 地域の分断と高架下の環境の劣悪化

歩行者・自転車
ネットワークの充実

各道路整備

- ・ 防災性の向上が必要

住宅が密集した
市街地の防災性の向上

防災公園の整備

- ・ 交流機会の創出を図るための拠点づくりが必要

産官学民の連携による
知的交流拠点の形成

地域交流センターの整備

○ 目標・整備方針と指標の関係

| | |
|-------|--|
| 目標1 | 歩行者・自転車ネットワークの充実 |
| 整備方針1 | JR茨木駅から大学キャンパス、大阪モノレール宇野辺駅をつなぐ、快適で安全な歩行者・自転車動線を整備する。 |

指標1
交通利便性の満足度
 →アンケート調査

※指標1は、茨木市全域での交通利便性を問うものであり、本整備事業による効果を十分に評価しきれず、補足指標が必要

その他の数値指標1
対象地区における都市再生整備計画事業の満足度
 →アンケート調査※

| | |
|-------|--|
| 目標2 | 住宅が密集した市街地の防災性の向上 |
| 整備方針2 | 大規模工場跡地への防災公園の整備、避難路の整備により、周辺の住宅が密集した市街地の防災性を向上する。 |

指標2
防災機能の向上
 →避難圏域内の一人あたり有効避難地面積

| | |
|-------|---|
| 目標3 | 産官学民の連携による知的交流拠点の形成 |
| 整備方針3 | 地域と共に創る開かれた知的交流拠点をめざし、市内大学や市内企業、市民等の交流機会を創出するために、「産官学民交流センター」を整備する。 |

指標3
産官学民交流センターの利用者
 →施設の年間利用者数

※指標1のアンケートにおいて同時実施

(2) 数値目標の達成状況と 効果発現要因の整理

◆指標 1 : 交通利便性の満足度

【数値目標の達成状況①】

| 評価値の 求め方 | 従前値 | | 目標値 | |
|---|-------|----------|-------|----------|
| | | 基準 年度 | | 目標 年度 |
| 市民2,000人を対象にアンケート調査を実施。 ①幹線道路の整備 ②生活道路の整備 ③路線バスの充実 ④バスの定時性の確保 ⑤自転車駐輪場の整備 ⑥歩道・自転車道の整備 について、「必要でない」と回答した割合の平均値を算出。 | 10.8% | H19 | 13.1% | H27 |

事後評価

| 評価値 | 達成状況 |
|------|------|
| 9.7% | 未達成 |

◆指標 1 : 交通利便性の満足度

【数値目標の達成状況②】

《アンケートの基本情報》

- ・調査期間：9月28日～10月13日
- ・調査方法：無記名式の質問用紙による調査（郵送配布・郵送回収）
- ・回収率：51.1%（1021/2000票）

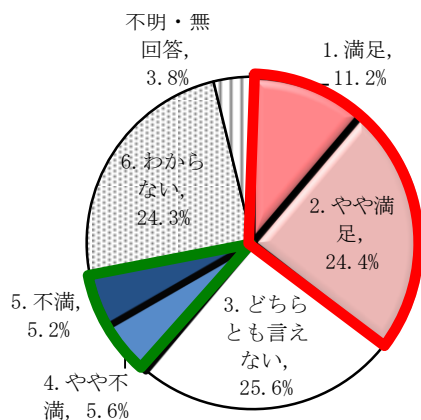
《アンケート結果》

| | 不満 | 満足 | わからない | 不明・ 無回答 |
|-------------|-------|-------------|-------|------------|
| ①幹線道路の整備 | 58.9% | 11.9% | 19.0% | 10.3% |
| ②生活道路の整備 | 74.5% | 8.4% | 9.6% | 7.4% |
| ③路線バスの充実 | 58.3% | 14.8% | 20.2% | 6.8% |
| ④定時性の確保 | 51.5% | 9.7% | 26.5% | 12.2% |
| ⑤自転車駐輪場の整備 | 68.9% | 9.5% | 11.9% | 9.8% |
| ⑥歩道・自転車道の整備 | 83.5% | 4.2% | 6.2% | 6.1% |
| 平均 | 65.9% | 9.7% | 15.6% | 8.8% |

◆指標 1 : 交通利便性の満足度 (参考)

【数値目標の達成状況③ (JR茨木駅南地区の評価)】

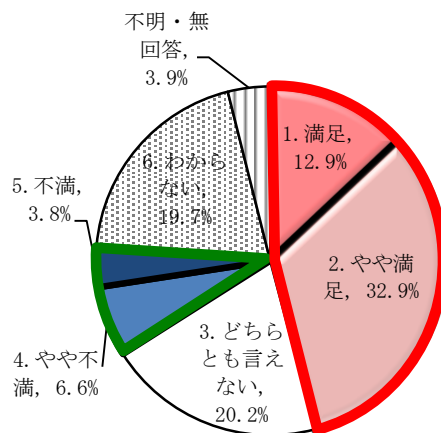
交通ネットワークの満足度



満足・やや満足: 35.6%

不満・やや不満: 10.8%

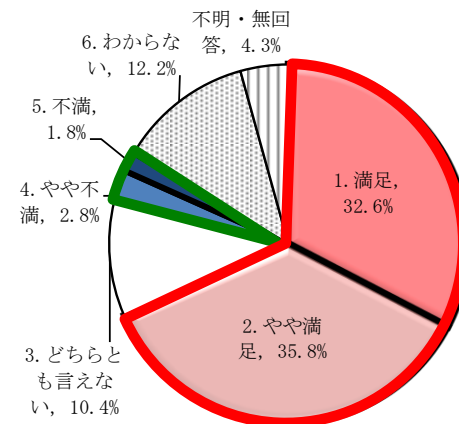
交通安全確保の満足度



満足・やや満足: 45.8%

不満・やや不満: 10.4%

バリアフリー化の満足度



満足・やや満足: 68.4%

不満・やや不満: 4.6%

交通ネットワーク・交通安全確保・バリアフリー化の各満足度においては、「満足」「やや満足」の割合が「不満」「やや不満」の割合を大きく超えていることから、対象地区内を整備したことによる利便性は向上していると考えられる。

◆指標1：交通利便性の満足度

【効果発現要因の整理】

| 種別 | 事業内容・実施箇所 | 貢献度 |
|------|------------------------|-----|
| 基幹事業 | 歩行者専用道路の設置（市道岩倉町歩専1号線） | △ |
| | 歩道の拡幅（市道西中条町1号線） | △ |
| | 歩道の改良（府道大阪中央環状線） | △ |
| | 自転車道・歩道の整備（茨木松ケ本線） | △ |
| | 情報板の設置 | △ |
| | JR茨木駅東口駅前広場の整備 | △ |
| | 既設歩道橋の改良 | △ |
| | 地域交流センターの整備 | — |
| | 大学図書館の整備 | — |
| 関連事業 | 道路整備（茨木松ケ本線） | × |
| | 道路改良（西中条奈良線） | △ |
| | 道路整備（市道岩倉町2号線） | △ |
| | 下水道の整備 | — |
| | 防災公園の整備 | — |
| | 高架下の活用 | △ |

※指標改善への貢献度

××：目標未達成の直接的な原因

×：目標未達成の間接的な原因

△：ある程度の効果をあげた

—：事業と指標の間に関係がない

総合
所見

交通利便性の満足度は従前値10.8%に対して9.7%と下回ったが、この満足度は茨木市全域での交通利便性を問うものであったため、目標値未達成には対象地区外の交通に関する取り組みの状況が大きく影響していると考えられる。

※地区内についての交通ネットワークの満足度等は「満足」が「不満」を大きく上回っていることから、対象地区における利便性は向上していると考えられる。

◆指標 2 : 防災機能の向上

【数値目標の達成状況①】

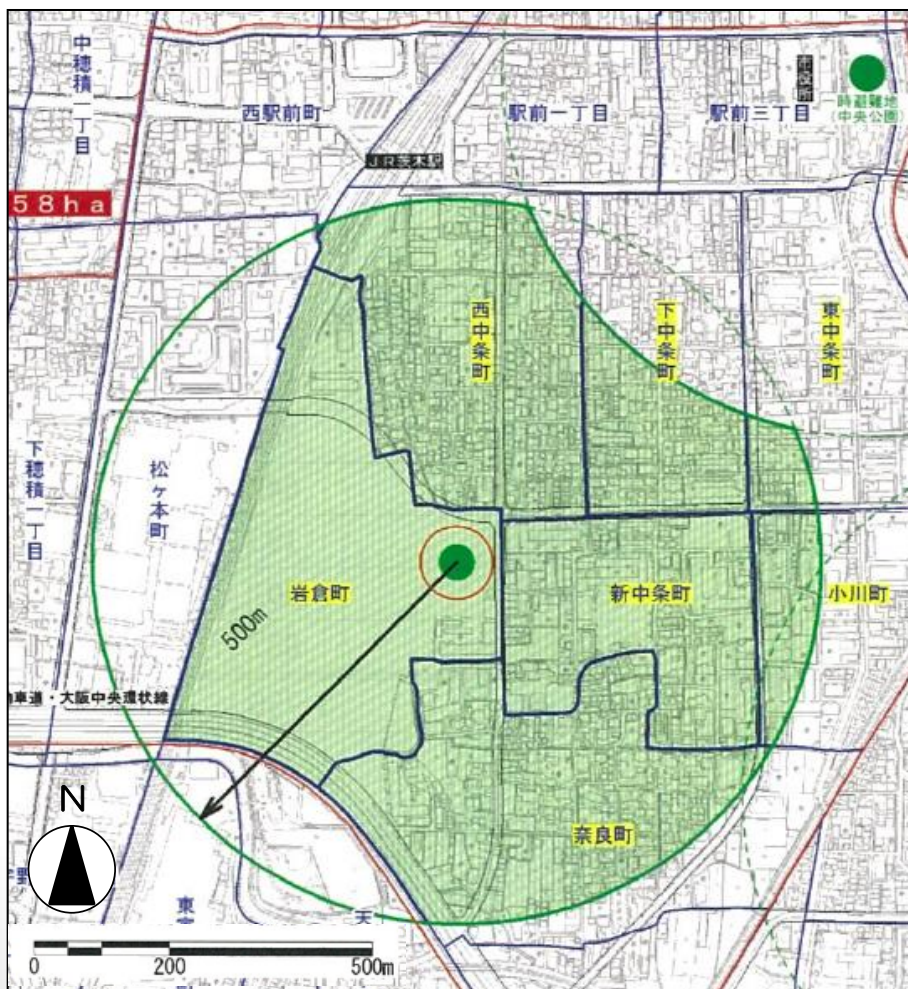
| 評価値の 求め方 | 従前値 | | 目標値 | |
|---|---------|----------|-----------------------------------|----------|
| | | 基準 年度 | | 目標 年度 |
| 避難圏域（防災公園から半径500m圏）内の一人あたりの防災公園の有効避難面積を算出 避難圏域内の人口は、住民基本台帳に基づき、町丁単位で測定 | 0 (㎡/人) | H22 | 2.0 (㎡/人) ※防災公園計画・設計ガイドラインより設定 | H26 |

事後評価

| 評価値 | 達成状況 |
|------------|------|
| 2.08 (㎡/人) | 達成 |

◆指標2：防災機能の向上

【数値目標の達成状況②】



| | 総数 (人) | 按分 | 域内人口 (人) |
|---------|-----------|------|-------------|
| 下中条町 | 1,851 | 0.46 | 847 |
| 東中条町 | 3,344 | 0.09 | 307 |
| 西中条町 | 1,763 | 0.90 | 1,592 |
| 岩倉町 | 526 | 1.00 | 526 |
| 新中条町 | 2,084 | 1.00 | 2,084 |
| 小川町 | 1,145 | 0.29 | 336 |
| 奈良町 | 2,052 | 0.76 | 1,507 |
| 避難圏域内人口 | | | 7,199 |

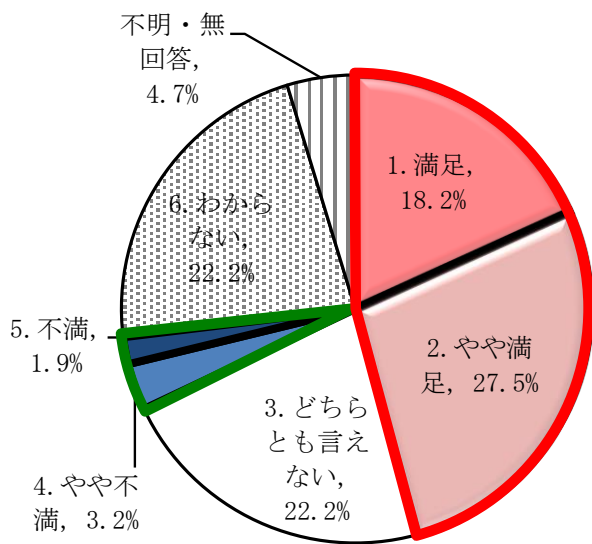
●防災公園面積：15,000 (m²)
 →一人あたり：2.08 (m²/人)

※住民基本台帳 平成27年3月末時点

◆指標 2 : 防災機能の向上 (参考)

【数値目標の達成状況③ (JR茨木駅南地区の評価)】

防災機能充実の満足度



満足・やや満足: **45.7%**

不満・やや不満: **5.1%**

防災公園や避難路の整備を実施したことによる、防災機能充実の満足度において、「満足」「やや満足」の割合が「不満」「やや不満」を大きく上回っていることから、防災機能の向上に対して満足していただいていると考えられる。

◆指標2：防災機能の向上

【効果発現要因の整理】

| 種別 | 事業内容・実施箇所 | 貢献度 |
|------|------------------------|-----|
| 基幹事業 | 歩行者専用道路の設置（市道岩倉町歩専1号線） | ○ |
| | 歩道の拡幅（市道西中条町1号線） | ○ |
| | 歩道の改良（府道大阪中央環状線） | ○ |
| | 自転車道・歩道の整備（茨木松ケ本線） | ◎ |
| | 情報板の設置 | ◎ |
| | JR茨木駅東口駅前広場の整備 | ○ |
| | 既設歩道橋の改良 | ○ |
| | 地域交流センターの整備 | ○ |
| | 大学図書館の整備 | — |
| 関連事業 | 道路整備（茨木松ケ本線） | ◎ |
| | 道路改良（西中条奈良線） | ◎ |
| | 道路整備（市道岩倉町2号線） | ○ |
| | 下水道の整備 | — |
| | 防災公園の整備 | ◎ |
| | 高架下の活用 | — |

※指標改善への貢献度

◎：指標の改善に直接的に貢献

○：指標の改善に間接的に貢献

△：指標の改善に貢献しなかった

—：事業と指標の間に関係がない

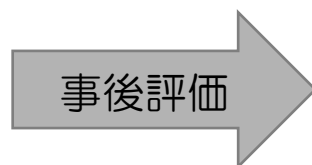
総合
所見

計画区域内に防災公園である岩倉公園を整備したことで、避難圏域（防災公園から半径500m圏）内の一人あたり有効避難面積が目標値以上確保され、約53.8ha、7,199人の避難困難区域が解消された。また、避難路となる防災公園に隣接した道路についても、道路整備及び改良を行い、地域の防災機能が向上した。

◆指標3：産官学民交流センターの利用者数

【数値目標の達成状況①】

| 評価値の 求め方 | 従前値 | 基準 年度 | 目標値 | 目標 年度 |
|---------------------------|-------|----------|-----------|----------|
| 産官学民交流センターにおける年間市民利用者数を算出 | 0 (人) | H22 | 3,000 (人) | H27 |



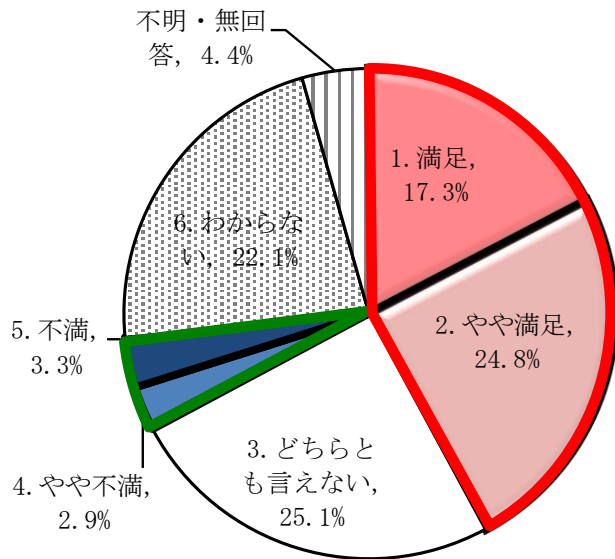
| 評価値 (見込み) | 達成状況 |
|-----------|------|
| 6,538 (人) | 達成 |

※平成27年4月～9月末の集計結果

◆指標3：産官学民交流センターの 利用者数（参考）

【数値目標の達成状況②（JR茨木駅南地区の評価）】

地域活性化の満足度



満足・やや満足：42.1%

不満・やや不満：6.2%

地域交流センターの整備を実施したことによる、地域活性化の満足度は「満足」「やや満足」の割合が「不満」「やや不満」を大きく上回っていることから、利用者数の増加につながっていると考えられる。

◆指標3：産官学民交流センターの利用者数

【効果発現要因の整理】

| 種別 | 事業内容・実施箇所 | 貢献度 |
|------|------------------------|-----|
| 基幹事業 | 歩行者専用道路の設置（市道岩倉町歩専1号線） | ○ |
| | 歩道の拡幅（市道西中条町1号線） | ○ |
| | 歩道の改良（府道大阪中央環状線） | ○ |
| | 自動車道・歩道の整備（茨木松ケ本線） | ○ |
| | 情報板の設置 | ○ |
| | JR茨木駅東口駅前広場の整備 | ○ |
| | 既設歩道橋の改良 | ○ |
| | 地域交流センターの整備 | ◎ |
| | 大学図書館の整備 | ◎ |
| 関連事業 | 道路整備（茨木松ケ本線） | ○ |
| | 道路改良（西中条奈良線） | ○ |
| | 道路整備（市道岩倉町2号線） | ○ |
| | 下水道の整備 | ◎ |
| | 防災公園の整備 | ○ |
| | 高架下の活用 | ◎ |

※指標改善への貢献度

◎：指標の改善に直接的に貢献

○：指標の改善に間接的に貢献

△：指標の改善に貢献しなかった

－：事業と指標の間に関係がない

総合
所見

イベントホール等における産官学民が連携した活動・イベント等の実施や、図書館における近隣住民等の日常的利用により、利用者数が目標値を大きく上回り、地域の交流拠点としての機能を担っている。

◆その他の数値指標 1 : 対象地区における都市再生整備計画事業の満足度

【数値目標の達成状況①】

| 評価値の 求め方 | 従前値 | | 目標値 | |
|--|-----|----------|----------|----------|
| | | 基準 年度 | | 目標 年度 |
| 市民2,000人を対象にアンケート調査を実施 対象地区における都市再生整備計画事業全体の満足度を問い、「満足」と回答した割合を算出 | — | — | 50.0 (%) | H27 |

事後評価



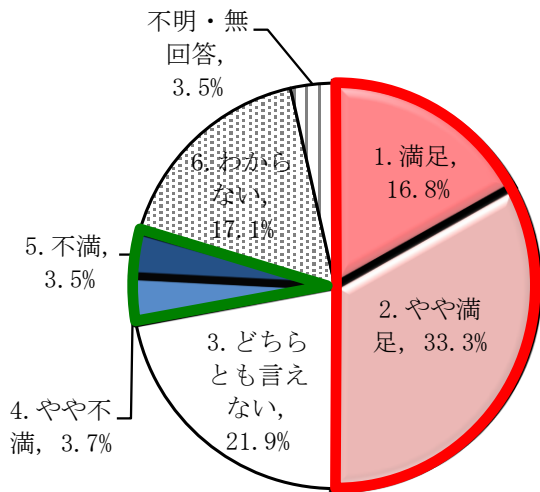
| 評価値 | 達成状況 |
|----------|------|
| 50.1 (%) | 達成 |

◆その他の数値指標 1 : 対象地区における都市再生整備計画事業の満足度 (参考)

【数値目標の達成状況② (JR茨木駅南地区の評価)】

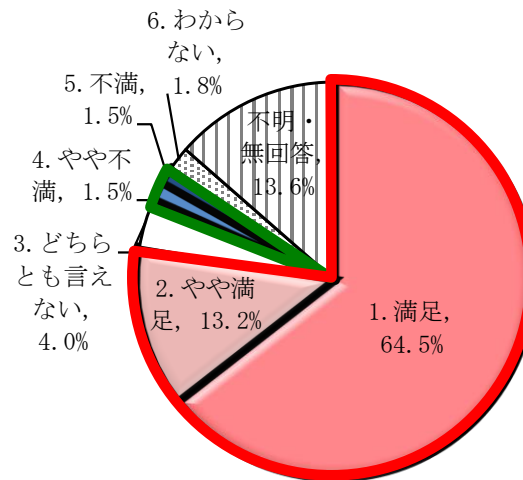
全体の満足度

全体の評価



不満・やや不満: 7.0% 満足・やや満足: 50.1%

対象地区住民の評価



不満・やや不満: 3.0% 満足・やや満足: 77.7%

全体の評価としては、50.1%でしたが、対象地区住民のアンケート結果を抽出すると「満足」「やや満足」は77.7%と高く「不満」「やや不満」を大きく上回っていることから、対象地区住民からは満足という評価を得られていると考えられる。

◆その他の数値指標 1 : 対象地区における都市再生整備計画事業の満足度

【効果発現要因の整理】

| 種別 | 事業内容・実施箇所 | 貢献度 |
|------|------------------------|-----|
| 基幹事業 | 歩行者専用道路の設置（市道岩倉町歩専1号線） | ◎ |
| | 歩道の拡幅（市道西中条町1号線） | ◎ |
| | 歩道の改良（府道大阪中央環状線） | ◎ |
| | 自動車道・歩道の整備（茨木松ケ本線） | ◎ |
| | 情報板の設置 | ◎ |
| | JR茨木駅東口駅前広場の整備 | ◎ |
| | 既設歩道橋の改良 | ◎ |
| | 地域交流センターの整備 | ◎ |
| | 大学図書館の整備 | ◎ |
| 関連事業 | 道路整備（茨木松ケ本線） | ○ |
| | 道路改良（西中条奈良線） | ◎ |
| | 道路整備（市道岩倉町2号線） | ◎ |
| | 下水道の整備 | ◎ |
| | 防災公園の整備 | ◎ |
| | 高架下の活用 | ◎ |

※指標改善への貢献度
 ◎：指標の改善に直接的に貢献
 ○：指標の改善に間接的に貢献
 △：指標の改善に貢献しなかった
 -：事業と指標の間に関係がない

総合
所見

今回のJR茨木駅南地区における整備事業により、各道路の整備やバリアフリー化の促進、交通安全性の向上を図り、また、産官学民交流センターや防災公園の整備を実施したことで、50%以上の満足度が得られた。

◆ 定性的な効果発現状況

■ JR茨木駅東口駅前広場の整備について

→ ペDESTリアンデッキを整備したことにより人が集まる空間が形成され、様々なイベントが開催されるなど地域の賑わいの創出が図られている。

■ 防災公園の整備について

→ 防災設備の案内板を設置しているので、平常時でも防災設備を確認できることにより、利用者の防災意識が向上している。
平常時は幅広い世代の利用者が多く集まり、地域における交流拠点の役割を担っている。

■ 地域交流センター等の整備について

→ 公共施設である地域交流センター（立命館いばらきフューチャープラザ）内に商工会議所が移動したことにより、従前に増して産官学が連携した多様な取り組みが実施されている。

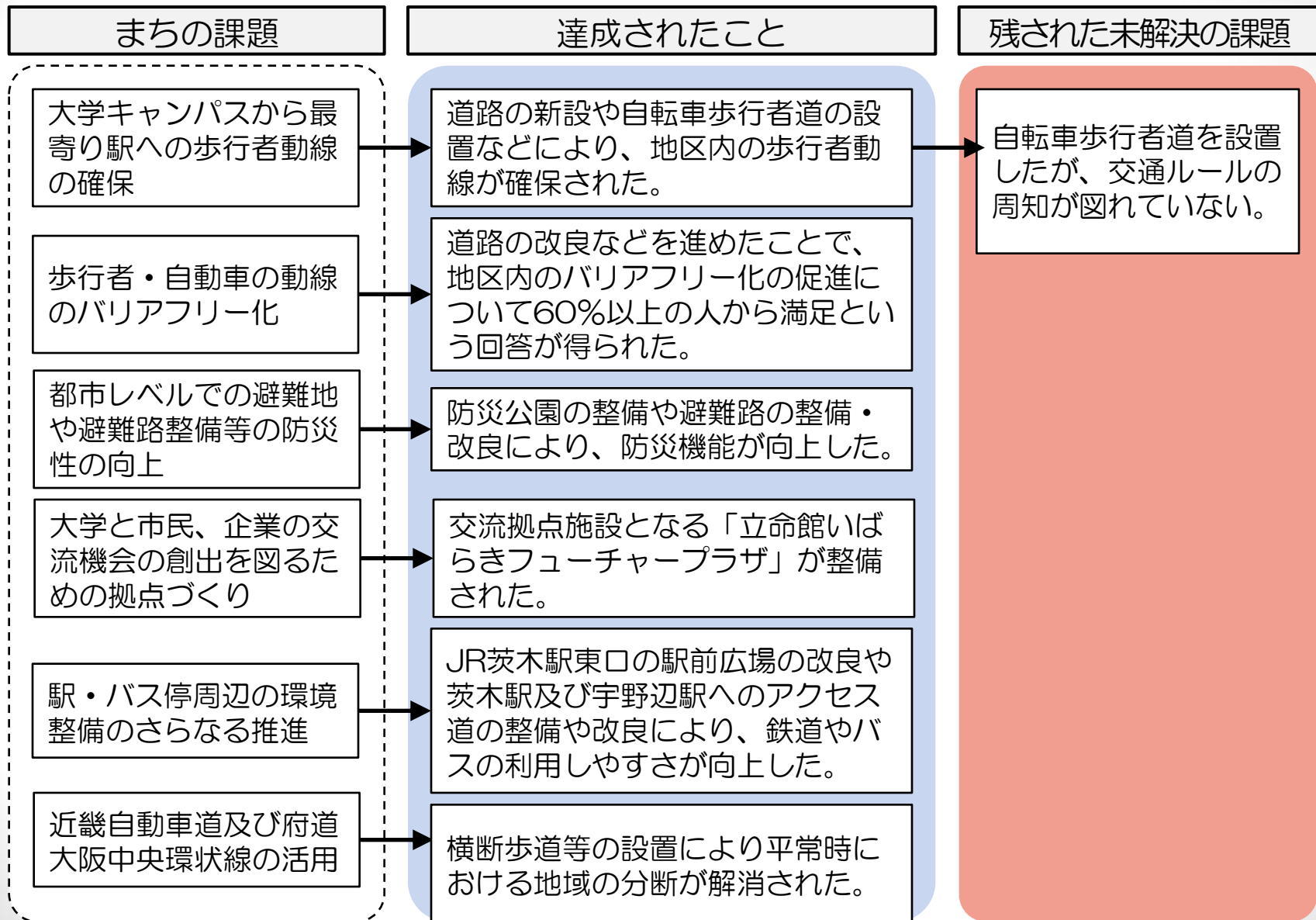
◆実施過程の評価

【住民参加プロセスの実施状況】

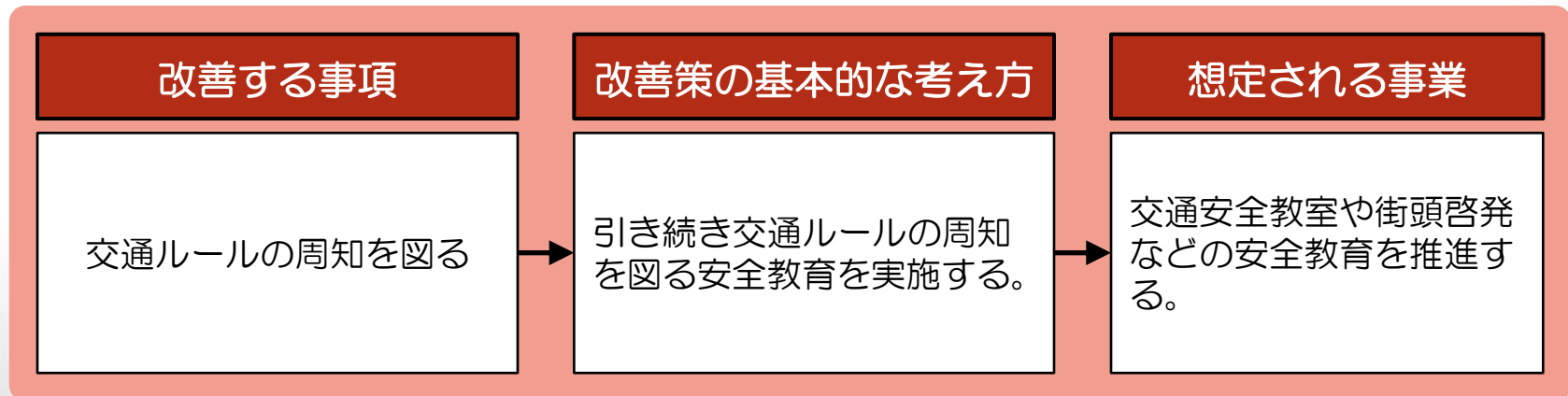
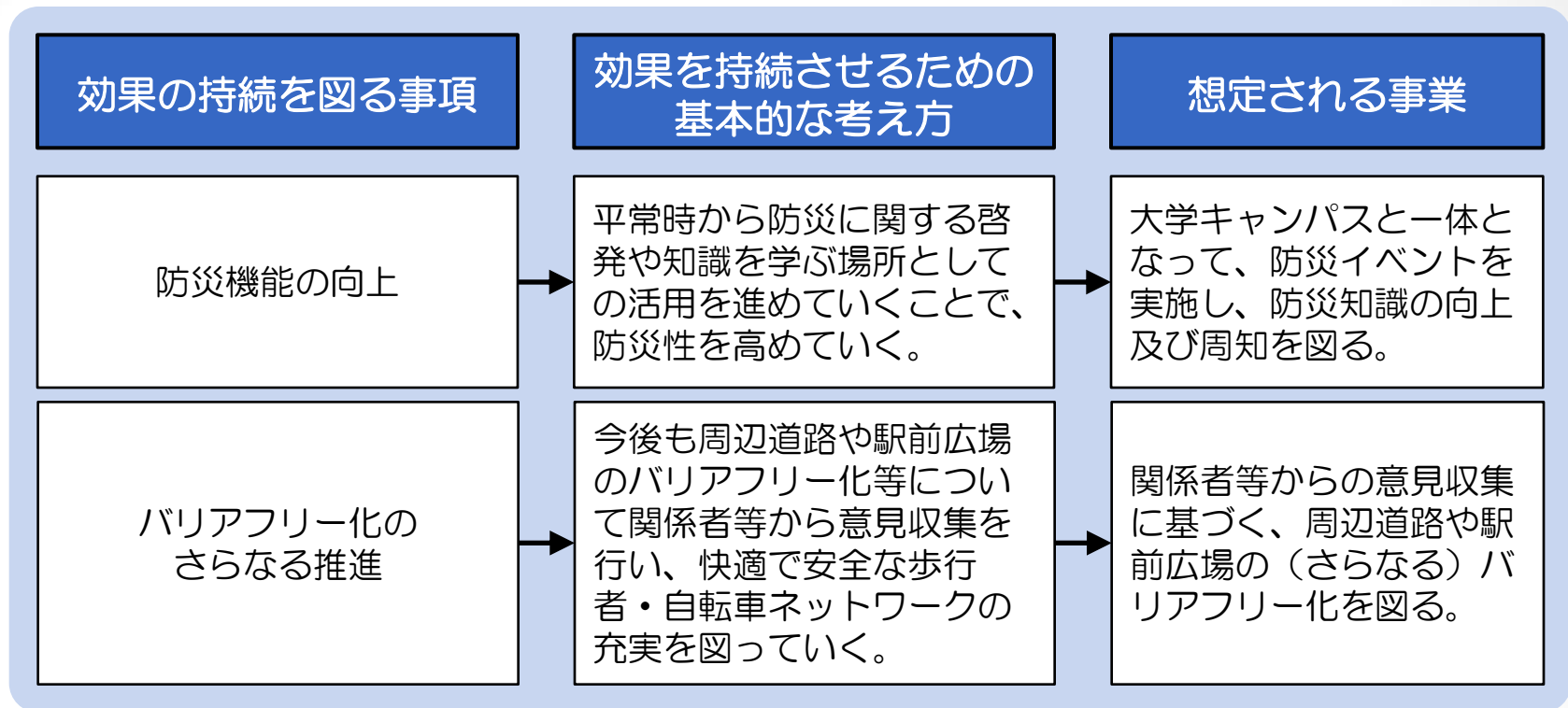
| 実施内容 | 実施頻度・実施結果 | 今後の対応方針等 |
|--|---|--|
| 茨木市総合交通戦略協議会 交通安全部会、公共交通部会、茨木市自転車利用環境整備計画協議会、茨木市バリアフリー基本構想協議会への市民委員の参加 | <p>【実施頻度】</p> 平成25年度、平成26年度 平成27年度 | 今後も周辺道路や駅前広場のバリアフリー化等について意見収集を行い、関係機関と協議のうえ検討していく。 |
| | <ul style="list-style-type: none">交通安全部会 : 2回公共交通部会 : 3回整備計画協議会 : 5回基本構想協議会 : 6回 <p>【実施結果】</p> 対象地区を含む中心市街地の公共交通の利便性向上やバリアフリー化に向けた検討において、市民委員を公募し意見収集を行った。 | |

(3) 今後のまちづくり方策

○ まちの課題の変化



○ 今後のまちづくり方策



(4) フォローアップ計画

○ フォローアップの実施

フォローアップの対象となる指標

- ・ 数値目標の達成状況を「見込み」で評価を実施した指標
- ・ 交付終了後1年以内に達成見込み「あり」とした指標
- ・ 今後のまちづくり方策において「改善策」を必要とする場合

フォローアップ計画

- ・ 指標3は「見込み」で評価したため、フォローアップを実施する

| 指標 | | 評価値 | | 1年以内の 達成見込み の有無 |
|-------------------|------------------------------------|-----------|---|-----------------------|
| | | 目標 達成度 | | |
| 指標1 | 交通利便性の 満足度 | 確定 | × | なし |
| 指標2 | 防災機能の向上 | | ○ | — |
| 指標3 | 産官学民交流セ ンターの利用者 数 | 見込み | ○ | — |
| その他 の数値 指標1 | 対象地区におけ る都市再生整備 計画事業の満足 度 | 確定 | ○ | — |



| フォローアップ計画 | | |
|-------------|--|-------------|
| 予定時期 | 計測方法 | その他 特記事項 |
| 実施の必要なし | | |
| 実施の必要なし | | |
| 平成28年 4月 | 産官学民交流センター供用後1 年間（平成27年度）の利用者数 を平成28年4月に集計し、その 値を持って確定値とする。 | — |
| 実施の必要なし | | |

(5) パブリックコメントの 実施について

○ パブリックコメントの実施

→茨木市建設事業評価委員会の開催に先立ち、事後評価原案を公表

| | |
|---------|-----------------------------|
| 公表資料 | JR茨木駅南地区都市再生整備計画事後評価シート（原案） |
| 公表場所 | ホームページ、担当課窓口、市役所情報ルーム |
| 意見募集期間 | 平成27年11月4日から平成27年12月3日まで |
| 意見の受付方法 | 担当課へFAX、電子メールの送信もしくは書面を直接提出 |
| 意見募集結果 | 意見提出なし |

(6) 今後のスケジュール

○ 今後のスケジュール

